

報道関係者 各位

2007年11月5日
オンコリスバイオフーマ株式会社

オンコリスバイオフーマ株式会社 神戸研究センター開設のお知らせ

オンコリスバイオフーマ株式会社(東京都港区 / 代表取締役社長 浦田泰生)は、2007年11月6日より下記のとおり神戸研究センターを開設いたしますのでお知らせいたします。

オンコリスバイオフーマ株式会社は、これまで京都研究センターにおいて、テロメライシン®(OBP-301) / テロメスキャン®(OBP-401)等の制限増殖型腫瘍殺傷ウイルス製剤の製造並びに品質試験法の検討を行なってまいりました。この度、新たに神戸研究センターを開設することにより、設備、環境、人員を整備し、更なる高品質なウイルス製剤の製造に向けて、自社研究センターの充実を図る計画です。

神戸研究センターの開設について、代表取締役社長 浦田泰生は、「本センターの設立は主に癌細胞診断用試薬としてのテロメスキャン®の高品質製造を主眼とするもので、シスメックス社との共同研究開発をより推進し、将来的にはテロメライシン®の GMP サンプル自社製造の礎にして行きたいと考えています。」と述べています。

記

名 称：オンコリスバイオフーマ株式会社 神戸研究センター

所 在 地：兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番5号
神戸バイオメディカル創造センターCPC棟 3階

施設面積：204 m²

事業内容：テロメライシン®(OBP-301) / テロメスキャン®(OBP-401)等ウイルス製剤の製造および品質管理

以上

オンコリスバイオフィーマ株式会社について

オンコリスバイオフィーマは、癌と感染症を克服するための新薬開発を行っている非公開企業。主要プロダクトであるテロメライシン® (OBP-301) は、増殖可能な腫瘍殺傷ウイルスで、現在各種固形癌をターゲットとして米国で第 I 相臨床治験を実施中。癌の診断薬として開発中のテロメスキャン® (OBP-401) は、現在癌の細胞診断への応用に向けてフィージビリティー試験をシスメックス社と共同で実施中。また、感染症の分野では、HIV の治療薬である新型の核酸系逆転写酵素阻害剤 (NRTI) である OBP-601 が前臨床試験の段階に入っており、その安全性と薬剤耐性ウイルスへの有効性が期待されているほか、今年 6 月には RNA 干渉を利用した C 型肝炎治療薬について、米国 Tacere 社と戦略提携を締結しています。

更に詳しい情報については、次のウェブサイトをご参照下さい。www.oncolys.com.

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オンコリスバイオフィーマ株式会社

Tel : 03-5575-3378

Fax : 03-5575-0488

E-Mail : anticancer@oncolys.com